

# 青雲の志 VI

## 生徒会執行部決定!

国頭中学校  
 国頭村字辺土名 1463  
 Tel 41-2205  
 Fax 41-3071  
 発行 校長 島袋賢雄

### 生徒会 執行部

- 会長 宮城 隆大(2B)
- 副会長 本田 琉奈(2A)
- 書記 新里 沙優(2B)
- 会計 宮城 陽大(2B)
- 議長 山田 月海(2B)



先月二十六日、第72代生徒会長選挙が行われました。本年度は宮城隆大さん、本田琉奈さんの二名が立候補しました。立候補するにあたって、葛藤もあったかと思いますが、勇気を振り絞ってチャレンジしたその心意気に、拍手を送りたいと思います。

立ち会い演説会では二人の候補者が、今後一年間の生徒会活動に向けての決意と公約を堂々と述べ、推薦人もしっかりと口調で推薦の弁を述べました。また、選挙管理委員の皆さんも事前準備から選挙当日の運営等責任を持って役割をきちんと果たしていました。

選挙の結果、僅差で宮城隆大さんが生徒会長に決定しました。他の役員は新会長の意見のもと担当学年の職員で話し合い、先日行われた中央委員会承認を得て決定しました。いよいよ新しい生徒会が船出します。本校生徒会の歴史に力強い新風を吹き込んでくれることを期待します。

## よりの授業づくりを目指して

9・10・11月 「授業研」 目押し

### 第七回 校内研

九月二十七日、國學院大學の齋藤智哉氏にご来校いただき、第七回校内授業研究会を開催しました。全体会では、焦点授業について

参観者による振り返りを行った後、講師の齋藤先生から焦点授業を中心に午前中に行われたそれぞれの授業についての指導・助言、本校の課題として考えられること等について、詳しく説明頂きました。



焦点授業 (1B 数学 方程式) 授業者: 西平 賀志 先生



指導・助言 全体会の様子

### 第八回 校内研

今月九日、道徳の授業研究会を行いました。

3Bの子どもたちは、教材中の登場人物に自分自身を投影させながら、しっかりと自分自身のこととして捉え意見を述べていました。道徳科のねらいの一つである「自分のことについて道徳的価値を捉え、人間理解や他者理解を深める」ことに繋がる素晴らしい授業でした。



道徳 規則の意義「二通の手紙」 授業者: 神山 歩美 先生

〈午前の公開授業と焦点授業の様子〉 子どもたちは、本当に良く育てている。その育ちを支えているのは、子どもを「見守る」教師の存在だと強く感じた(しかも「見守る」ことが「引き受ける/受け入れる」ことになり、最終的にケアの関係が成立している)。そして、見守りつつ子どもを「つなぐ」ことで、子ども同士の聴き合う関係が成立しているように見受けられた。

#### 〈今後の課題〉

1. 課題の質の向上=ジャンプの課題への挑戦  
\*課題が興味深いと、子どもたちは「つながり」の中で探究を始める
2. 子どもを見守り、丁寧に「つなぐ」ことを続ける
3. グループでの学び合いの時間をふやしたい。

### 2学期の抱負 生徒会代表 上地光琉

長い夏休みもあっという間に終わり、今日から2学期です。夏休みは、陸上・駅伝・部活動などを、それぞれが取り組んだと思います。

1年生にとっては、中学生に入って初めての夏休みで、陸上や駅伝はついていくので必死だったと思います。また、1年生大会などで良い経験ができたと思います。2年生は、3年生が抜け新チームとしてキャプテンを中心に頑張っていると思います。来年の夏、目標を達成できるよう1日1日を大事に過ごして下さい。3年生は、国中の悪い伝統であった中体連後に違う道にそれてしまうという事もなく、1・2年生と共に陸上・駅伝練習で汗を流し後輩に良い姿を見せたと思います。また、受験生でもあるので、行きたい志望校に行けるよう勉強も頑張っていきましょう。2学期は地区陸上、合唱コンクールなどの行事があります。合唱コンクールではクラス一致団結し地区陸上では国頭中全生徒が一つになり、行事を盛り上げていきましょう。

生徒会は、10月をもって第72期生徒会に引き継ぎをしますが良い形で引き継げるよう、努力していきます。

## 進路について

三年生は来年の四月、一人一人が考え選んだ進路に向かって進んでいくこととなります。進路とは、自分の生き方、どのように生きていくかを考えるということです。高校受験は中学校卒業後の進路選択の一つであって、『進路』高等学校受験ではありません。大切なことは『自分』は、どんな生き方をしたいのか。『自分』と、それを現実にさせるために、『今、何をしなければならぬのか。』『今後、どうすればよいのか。』を真剣に考えることです。ですから、『自分の成績ではどの学校に行けますか。』ではなく、『自分は、こういう希望を持っているから、この高校に進学したい。』というような進路選択をしてほしいのです。15歳の中学生であっても、将来の夢や希望を実現するためには、自分自身の生き方を考えることも、自分の能力や適性をふまえて、進路選択することが大切です。高等学校や専門学校に進学する場合も、就職する場合も、自分の希望を実現するためにこの残り半年間精一杯努力をしてください。自分の道は自らの手で切り拓きましょう。